

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年1月

計画の名称	35 鉄道駅周辺の利便性を高め地域の活性化に向けたにぎわいと魅力あるまちづくり（防災・安全）									
計画の期間	平成26年～平成30年（5年間）			交付対象	湖南省					
計画の目標	三雲駅周辺の地域において、周辺市民、周辺企業への公共交通機関によるエコ通勤、JR草津線の利用促進を実施し、平成25年現在、利用客数1,930人と年間10人程度の増加となっている。しかしながら、三雲地域においては、近年、年間約20人程度の人口減少状態にあり人口減少の懸念がある。このため、三雲駅周辺の南北を結ぶ自由通路・駅前広場の整備を行い、駅周辺交通結節点機能及び利便性の向上を図り、併せて高齢者や障がい者を始めとするすべての住民が安心・快適に生活活動ができるようバリアフリー化を図り、にぎわいのある魅力的なまちづくりを創出するための拠点づくりを推進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・JR三雲駅利用者数（乗客数）を現在の1,930人から1,980人（H30）に増加させる。 ・駅利便性の向上により人口減少の抑止を図り、年間約20人の減少傾向にある三雲地区内の人口維持を図る。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30末)				
	現地利用客調査によりJR三雲駅の利用者をカウントする。			1,930人	1,950人	1,980人				
	地区内人口の人口増減を調査する。 (地区内人口増減率) = (評価時点の地区内人口) / (H25年度当初の地区内人口) *100			3,652人 100%	3,652人 100%	3,662人 100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,145百万円	A	1,128百万円	B	0	C	18百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
湖南省において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	令和3年1月
	公表の方法
	湖南省ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
35-A001	街路	一般	湖南省	直接		S街路 改築	(都) 三雲駅線（自由通路）外2線 自由通路 L=0.07km・W=3.0m 駅前広場(北) A=900㎡ 駅前広場(南) A=3,500㎡	湖南省						1,128		
										小計（道路事業）			1,128			
										合計			1,128			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										合計			0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者		要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
35-C001	道路	一般	湖南省	直接	-	改築	三雲駐輪場	北側駐輪場 3F：延床A=746.39㎡ 南側駐輪場 1F：延床A=358.38㎡	湖南省						18	
合計													18			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
35-C001	駅前広場の整備（35-A001）と併せ駐輪場を整備することにより、自転車利用者の利便性向上を図りにぎわいのあるまちづくりを創出する。	

その他関連する事業													
計画等の名称													
事業種別	交付対象	要素となる事業名 （事業箇所）					市町村名	全体事業費 （百万円）					備考

A'	-	B'	-	C'	-	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	-
----	---	----	---	----	---	---------------------------------------	---

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> 三雲駅周辺の南北を結ぶ自由通路・駅前広場を整備したことにより、バリアフリー化（エレベーター2基、身障者用の乗降スペース2箇所、バスの乗降スペース2箇所等）を図ると共に、南口からのアクセスが可能になり、通学や工業団地への通勤時の送迎等において駅利用者の新たな玄関口となる等、駅周辺交通結節点機能及び利便性が格段に向上した。 三雲駅北口と南口に駐輪場を整備したことにより、計500台以上の駐車台数が確保され、また、放置自転車も大幅に減少（H26：81台→H31：13台）する等、自転車利用者の利便性や交通環境が格段に向上した。 									
II 定量的指標の達成状況	JR三雲駅の利用者数	最終目標値	1,980人	目標値と実績値 に差が出た要因	自由通路・駅前広場・駐輪場の整備等、事業の相乗効果により三雲駅を利用したい市民等が増加し、目標値を達成することができた。							
		最終実績値	1,986人									
	地区内人口の増減率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値 に差が出た要因								
		最終実績値	109.94%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）												
3. 特記事項(今後の方針等)												
<p>今後も、三雲地域における人口減少を食い止めるため、交通結節点機能や利便性の向上した駅周辺の都市基盤を最大限活用し、さらなるにぎわいや魅力の創出を推進する。</p>												